

事業報告書

(平成 21 年度 GCOE 若手研究者自主企画事業)

1. 事業内容.

平成 21 年度 GCOE プログラム「数学新展開の研究教育拠点」(東京大学大学院数理科学研究科)における若手研究者自主企画事業として、「計算機とトポロジー分野を中心とした勉強会」と題したセミナーを以下のように開催いたしました。

日時：平成 21 年 4 月 15 日(水) 10:00 - 18:10

場所：東京大学大学院数理科学研究科 002 号室

(プログラムは別紙の通り)

世話人は、境 圭一(事業責任者;東京大学数理科学研究科)、桐生 裕介(スタジオフォonz)の 2 名でした。

GCOE プログラムからは、講演者 2 名の交通費及び滞在費の援助を頂きました。

別紙のプログラムに記載されている通り、今回のセミナーでは計算機の利用をテーマの中心に据え、若手を中心とした研究者の研究交流を図ることを目的としました。

2. 事業報告

別紙プログラムの通り、若手研究者を中心に 9 名の研究発表が行われました。講演者には 3 名の大学院生も含まれ、講演の場を設ける意味でも有意義であったと考えています。

新年度が始まって間もない時期にもかかわらず、関東近辺や関西地区、中国地区からも聴講者があり、講演者を含めて 23 名の参加がありました。講演時の質疑応答のみならず、休憩時間においても参加者の間で活発な情報交換が行われました。

終了後、今後も同様のセミナーが開催されることを期待する声が参加者から多く聞かれました。様々な分野の研究者による、計算機に対する議論の場を設けられたことの意義を端的に示すものであったと考えております。

今後望まれることは、より多くの数学領域の講演者、参加者による集會を数日に渡って設け、時間をかけた議論が可能な場を提供することではないかと考えています。